

「PF ニュース」からのお知らせ

平成 24 年度からの PF-UA の発足に伴い、PF ニュースはウェブが主体となりましたが、引き続きご愛読を賜り感謝致します。今後も新しい企画記事の連載など誌面の充実につとめ、PF ニュースをより魅力あるものにしていきます。PF ニュースウェブページには、冊子版では白黒となっている図等もオリジナルのカラーのものを掲載しています。ウェブ版もお楽しみ頂ければと思います。

ウェブ掲載時にはメールでお知らせするシステムも運用しています。希望される方は、どうぞご登録下さい。PF ニュースウェブページにフォームを掲載しています（※ KEK の共同利用者支援システムでユーザー登録をされた皆様には、PF メルマガが配信され、そちらにも PF News 発行のお知らせが載りますので、その方はお知らせメールの登録は必要ありません）。

PF ニュース編集委員一同

投稿のお願い

【最近の研究から】

PF で行われた実験、研究の成果をお寄せ下さい。

【建設・改造ビームラインを使って】

特にビームラインの改良点、他のビームラインとの比較、要望等を是非お聞かせ下さい。

【ユーザーとスタッフの広場】

PF での実験の成果等が認められ受賞された方、海外放射光施設に滞在、訪問された方、国際会議等に参加された方、修士論文等、どうぞご投稿下さい。また PF に対するご意見等がありましたら是非ご投書下さい。

詳細は事務局または PF ニュース HP をご覧下さい。

宛 先

〒 305-0801 茨城県つくば市大穂 1-1
高エネルギー加速器研究機構
物質構造科学研究所 放射光実験施設内
PF ニュース編集委員会事務局
TEL : 029-864-5196 FAX : 029-864-3202
E-mail : pf-news@pfqst.kek.jp
URL : <https://www2.kek.jp/imss/pf/pfnews/>

編集後記

2020 年春より PF News 編集委員を務めさせて頂き、早くも一年余りが経ちました。昨今のコロナ禍により、現在も本誌の編集会議はオンラインで行われております。PF まで片道 2 時間かかる私としては時間的メリットが大きい一方で、他の編集委員の皆様と議論や交流を深める機会が限られている点は少し寂しくも感じます。ちょうど、大学でオンライン講義を受けることを余儀なくされた学生の境遇に似たものを感じました。私の勤める大学でも昨年度多くの講義がオンラインで行われましたが、通学が不要なことを喜ぶ学生がいた一方で、学内で孤立し不安を感じた学生も少なくなかったように見受けられます。オンライン化によるメリットは多く、今後もこの波が続くことは間違いありませんが、それでも「生のもの」に触れる体験や「余白」で得られるものの価値は褪せることがないと思います。本誌はオンライン版と冊子版の両媒体で発行されており、両者の利点を活かした情報発信を目指して一同取り組んでおります。冊子版の場合、目の前に冊子があるということ自体が読書意欲を誘うという利点があるのではないかと個人的には思います。研究やビームタイムの「余白」の時間に、本誌を手にとって目を通していただければ、編集委員の一員として幸いなことこの上ありません。(G.S.)

* 2021 年度 PF ニュース編集委員 *

委員長	清水 伸隆	物質構造科学研究所			
副委員長	古賀 舞都	産業技術総合研究所			
委員	井口 翔之	東京工業大学物質理工学院	石田 明	東京大学大学院理学系研究科	
	岩波 睦修	ENEOS (株) 中央技術研究所	岩野 薫	物質構造科学研究所	
	宇佐美徳子	物質構造科学研究所	門林 宏和	物質・材料研究機構	
	北村 未歩	物質構造科学研究所	木村 正雄	物質構造科学研究所	
	芝田 悟朗	東京理科大学理学部	高木 宏之	加速器研究施設	
	中村 顕	学習院大学理学部生命科学科	野澤 俊介	物質構造科学研究所	
	引田 理英	物質構造科学研究所	山崎 信哉	筑波大学数理物質系	
事務局	高橋 良美	物質構造科学研究所			